



TAGARAから世界へ! TAGARAから未来へ!

令和3年6月1日 令和3年度 第3号 発行責任者 東京都立田柄高等学校長 加藤竜吾

緊急事態宣言の延長を受けて

4月25日(日)から発動された東京都の三度目の緊急事態宣言は、連休中の人の動きを止めることで感染を抑え込むことを目的とし5月11日(火)まで行われたが、第四波と変異型ウイルスの拡大が収まらず、5月31日(月)まで延長されました。そして、東京都の感染者は少しずつ減少しつつあるものの、十分抑え込まれたところには至らず、改めて6月20日(日)までの延長がなされることになりました。大変変則な状況が続く中で、生徒の皆さんも疲れが出ていることかと思えます。

今年度、入学式は簡略化した形ではありましたが実施できたものの、その後予定されていた芸術鑑賞教室、遠足、生徒総会、体育祭等は、中止または延期・規模縮小となり、部活動も大会参加に伴う練習等以外行うことができない中で、加えて分散登校と Teams によるオンラインが続き、虚無感と先行きの不安が学校全体にも付きまっています。

このような中で、日本の伝統文化である国技大相撲の五月場所で大関復帰を果たした照ノ富士関が二場所連続、四度目の優勝を果たしたことは、皆さんも記憶に新しいことでしょう。怪我で、大関から序二段まで陥落した後、見事に復帰しただけでも素晴らしいことなのに、復帰後、大関での優勝を連続で飾ることは、大きな勇気を与えてくれました。途中で、惜しくも負けが何度かありましたが、気合だけは負けないまま千秋楽まで続けたことは、精神面も含めて不断の努力の結果なのだと思います。

照ノ富士関は、「一日一番の気持ちで務めていたことが優勝につながったと思う。一生懸命頑張ったよかった。」と千秋楽後に述べています。大関は、日々の努力の積み重ねが大切であることを説いていると思います。

生徒の皆さんもどうでしょうか。分散登校のため、平均すると三日に一回の自宅学習が入ってきますが、ここで気を抜いている人はいませんか。Teams のオンライン環境は、田柄高校の全校生徒にとって必ずしも十分なものではありません。しかし、限られたオンライン環境の中で、先生方は何ができるのかを常に考えながら普段の授業と並行して準備を進めています。この Teams は、田柄高校の皆さんがしっかり学ぶ場であり、緊急事態宣言下での重要なツールです。きちんとその目的を理解して、日々の努力以上の成果を出せるようにして欲しいと思います。

今月は、中間考査の結果を受けて、担任の先生方との面談も予定されています。場合によると Teams の活用もあり得ます。ここまでの学習結果をしっかり振り返るとともに、不断の努力を続けてほしいと願っています。

TGR点描 (マナーとルール②)

今年は季節のめぐりが早いのか、すでに夏日も記録し、5月後半には梅雨模様の天候が続く日が多くなってきました。先月自転車通学のことを述べましたが、イヤホン装着に加えて、傘さし運転の生徒が見受けられます。正門前では傘を閉じているものの途中まで傘さし**運転で登校した**ように見受けられる生徒も少なくありません。傘さし運転は道路交通法違反です。学校前の狭い歩道も大変危険です。傘を差しながら自転車走行をしている場合は、すぐに取り上げます。そのようなことにならないよう、簡易な雨合羽でも良いので、田柄高生としてルールを守った登校をしてください。

1学期の授業観察も後半に入ってきました。授業中にスマホやピアス・不用品を持ち込まない、私語をしないことは、ほぼ徹底できていると感じています。これは田柄高生として良いところです。それ以外のところはどうでしょうか。少々気になることが、女子生徒の装身具・化粧、スカートです。生徒手帳46ページには指輪・ネックレス・化粧・マニキュア等は禁止されています。スカートも腰をまくり上げて丈を短くしている人も少なくありません。これらをしっかり守ることも授業を受けるためのマナーです。心当たりのある人は、注意されることのないようにし、気持ち良い学校生活を送りましょう。

1年生交通安全教室

令和3年5月12日（水）午後、1年生は、日本交通安全教育普及協会の講師の先生による指導で、講話と自転車シミュレータの体験、事例説明の指導を受けました。講話では、パワーポイントを使用して、自転車安全利用五則について確認しました。自転車安全利用五則とは、次の通りです。

- 1 自転車は、車道が原則、歩道は例外
- 2 車道は左側を通行
- 3 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
- 4 安全ルールを守る
 - ・ 飲酒運転・二人乗り・並進の禁止
 - ・ 夜間はライトを点灯
 - ・ 交差点での信号遵守と一時停止・安全確認
- 5 自転車はヘルメットを着用

講話の後は、代表生徒5名による自転車シミュレータによる体験乗車を行い、危険の察知を確認しました。その後、日本交通安全教育普及協会より事例説明を受け、各教室で感想文を作成しました。

4～5月は、毎年新たに自転車通学を始める人が増加します。事故に遭わないこと、起こさないことが何よりも大切です。自転車事故で大変な賠償責任を問われている人もいます。自転車保険には加入していますよね。これも自転車を運転する人の責務です。しっかりと交通ルールを守って通学しましょう。



令和3年度学校運営連絡協議会

令和3年5月21日（金）午後、今年度第1回目の学校運営連絡協議会 兼 学校サポートチームを開催しました。今年度の協議委員は、昨年度と同様に次の皆様にお願ひしました。

元大学教授 ●● ●● 委員、光が丘地区連合協議会副会長 ●● ●● 委員、練馬区立田柄中学校長 ●● ●● 委員、練馬区立光が丘さくら幼稚園長 ●● ●● 委員、田柄高校PTA会長 ●● ●● 委員、光が丘壮年ソフトボール連盟副会長 ●● ●● 委員、元都立高校校長 ●● ●● 委員、光が丘警察署スクールサポーター ●● ●● 委員

今回の会議では、41年目を迎える田柄高校の重点支援アドバンス校による次の段階の改革として、コース解消と改訂学習指導要領全面实施を次年度迎えるための対応を含めた今年度の学校経営計画と各分掌・学年から前年度の総括と今年度の方針を報告した後、協議を進めました。

協議委員からは、田柄高校におけるオンライン授業の状況と課題について、コロナ禍における学校行事や部活動の対応、校内寺子屋、図書館利用、授業公開等^{など}、多岐に渡る質問や建設的な意見交換を行い終了しました。今年度も第2回目に学校関係者評価委員会も実施し、学校評価アンケートの方針等について確認を進めていく予定としています。

